

掲示板のことば

谷川俊太郎作詞

江東区立大島西中学校校歌

答えること

ことは

生きる

こと

問
い
か
け
る

学
ぶ
こ
と
は

2024. 12

谷川俊太郎さんの言葉にはたくさん触れてきました。子どもたちと読んだ絵本であったり、翻訳であったり、詩であったり、歌であったこともありました。

谷川さんは多くの学校の校歌も作詞していらっしゃいました。この言葉は、江東区内では唯一、区立大島西中学校校歌にある言葉です。本来は、歌詞の1番と2番に別々に置かれている言葉ですが、繋げさせていただきました。

「子どもと大人のあいだを生きる」という歌詞にもあるように、中学生はとても大切な時期にあります。感受性が育ち、大人になるために多くの知識を得る時なのだと思っていました。しかし谷川さんは、学ぶことは知識を得ることではなく、問いかけることだとおっしゃいます。

自分に問いかけ、大人に問いかけ、社会に問いかけることもあるかもしれません。学ぶということは、たくさんの問いをその身に蓄えることなのでしょう。

そして、その問いを抱えて生きることを通して、自分自身への答えに出会っていくのかもしれません。

そう思いますと、それは中学生に限ったことではないようです。どの世代でも言えることでしょう。そのそも「学問」とは「問いを学ぶ」ことです。学校は、答えを学ぶところではなく、多くの問いが生まれる場所なのでしょう。

学んできた問いかけへの答えに出会うため、私たちは生きるのです。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹